

厚生福祉


 時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
 昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
 毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
 購読料金 月額税込み4,300円
 本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。
 ©時事通信社2013
 ◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
 kousei-dokusha@jiji.com

目次

特集 東京財団連続フォーラム③ 給付抑制、プライマリ・ケアの供給体制が話題に 日蘭の介護政策を議論……………	2
ドイツ証券社員を逮捕 贈収賄容疑、三井物産年金元常務理事も一警視庁……………	7
中央省庁ニュース……………	8
教育訓練給付を大幅拡充 ほか	
進言(青森県)……………	9
5・5兆円の経済対策決定 消費増税の景気腰折れ回避……………	10
地域を支える(沖縄県)……………	11
強化と普及、発展途上 環境整備も課題— パラリンピック……………	12
S・ポイルさん、アスペルガー告白……………	12
私たちの工夫 市と連携し納付率向上を…	13
第185臨時国会関連情報……………	14
がん登録法が成立 ほか	
原発「再稼働推進」を明記 一定数維持、依存度は低減—エネルギー計画原案……………	16
新刊図書の中から……………	17
ニュースフラッシュ……………	18
【福祉・子ども】水道メーター分解、福祉事業所に委託 ほか【医療・健康】「百寿レシピ」を発刊 ほか【環境・ゴミ】レアメタル回収箱を設置 ほか【労働・女性】女性の起業支援で冊子作成	

優良申告法人

社会福祉法人で施設運営をしていく中で、在宅の人々への介護を提供する必要性から、平成の初め頃から株式会社で訪問介護をやっている。今でこそ民間の企業が介護保険に多く参入しているが、その頃は散々非難されたものである。

私は最初からお金は後から付いてくるという主義で、質の高い仕事をすることを目指し、また、女性が主の職業柄、女性の社会進出や社会人としてあるべき生き方をお互いに啓蒙し合う楽しい会社づくりを心掛けてきた。

二級ホームヘルパー研修を受け持っていた時は、必ず、「あなたの子供さんが小学校へ入学した時に、皆さんから出してもらった税金で勉強できる

社会福祉法人新生会
 名誉理事 長・石原美智子



のよ、と話しているか」と問うた。勿論、みんな「いいえ」という返事だったが。

幸運なことに、とてもいい人材に恵まれ、県内にそれなりに広がり、それなりに成績も上がっている。会社の方針は、柱は専門性の高い介護であるが、営業所も、そこから枝分かれしているステーションも、全て独立採算制である。自立の介護と言いつつ、自分たち自身が自立もできていないようでは、言行不一致になる。

最初は皆、数字が苦手である。でも、数字が示す意味を理解できるととても仕事が面白くなることを発見していく。数字は後から付いてくる、という意味も理解できてくるのだ。

そんなつもりではなかったのに、管理職は女性ばかりの会社になってしまっているが、この度、税務署から優良申告法人として表彰状を頂いた。

日曜日でも早朝・夜間も仕事に行くことができるように、「キッズセミナー」と称して子供たちの勉強会を催した。子供たちは、母親の仕事を理解するだけでなく、他人を思いやる人としての母親を尊敬し、育っていく。日々、こうした「学びの環境」の中で仕事を続け、その上、社会に存在する意義としての税金もきちっと納め続けてこられたことは、小さな夢が積み重なった結果である。

株式会社という組織で、在宅で人生を全うできるように支援するという本来の目的他に、仕事を通して子供の教育も、女性の社会進出も、納税の義務も果たしていることに誇りを持っている。